

PRESS RELEASE

2024年5月17日

日興アセットマネジメント株式会社

「全世界超分散株式ファンド」を設定

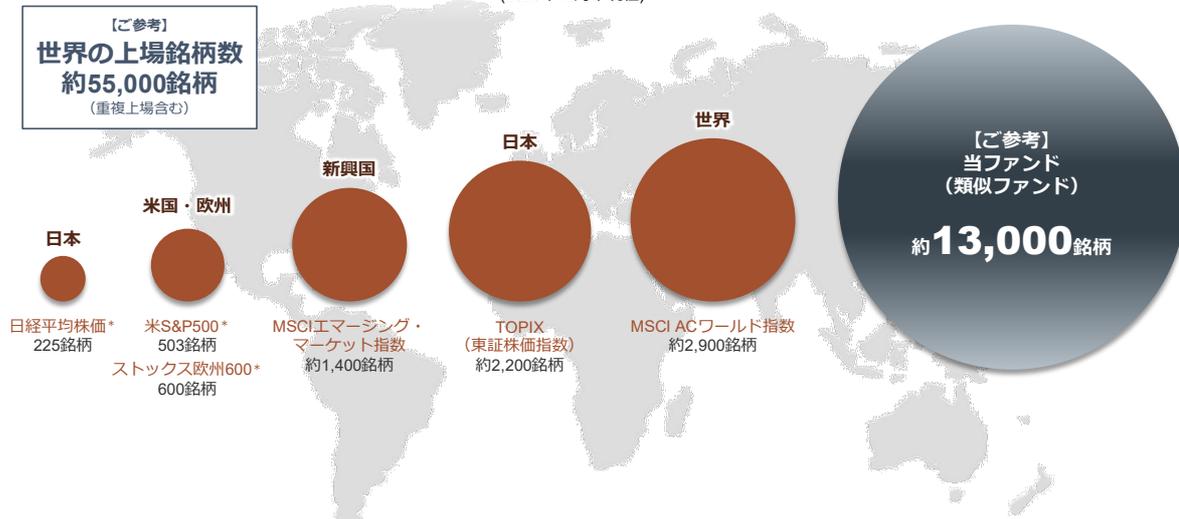
世界1万超¹の銘柄に幅広く分散し、「企業規模」「相対価格」「収益力」に着目

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場されている企業の株式に極めて幅広く分散投資する追加型投信「全世界超分散株式ファンド」を、5月17日に設定し、運用を開始いたします。株式会社ゆうちょ銀行が5月20日より取り扱いを開始します。当ファンドは、NISA(少額投資非課税制度)の成長投資枠の対象商品²です。

一般に、投資信託はアクティブファンドとインデックスファンドに大別されます。アクティブファンドは、銘柄選択などによって積極的な収益の獲得をめざす点が魅力ですが、集中投資により価格変動が大きくなったり、運用コストが高くなる傾向があります。当ファンドでは、積極的な収益の獲得のため、期待リターンの源泉として3つの観点(企業規模、相対価格、収益力)に着目するほか、超分散や運用コストの抑制も重視した運用を行ないます。

当ファンドでは、主要な株価指数などに比べて極めて幅広く分散投資を行なう

<主要な株価指数と当ファンド(類似ファンド)の銘柄数比較>
(2023年12月末現在)



*1 社で複数の銘柄が上場している場合などがあるため、構成銘柄数が選定された企業の数と同じになるとは限りません。上記は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。World Federation of Exchangesなどの信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成。

当資料では、当ファンドが主要投資対象とする投資信託証券と実質的に同様の運用戦略を用いるディメンショナル・ファンド・アドバイザーズの既存ファンドを「類似ファンド」と呼び、ご参考情報として掲載しています。

※上記の類似ファンドの組入銘柄数は、投資者の皆様にご参考いただくために掲載した情報であり、当ファンドの組入銘柄数ではありません。運用開始後の状況については、マンスリーレポートなどをご確認ください。

¹ 上記の組入銘柄数は、投資者の皆様にご参考いただくために掲載した情報です。資金流入や市場環境などにより、当ファンドの組入銘柄数は増減することがあります。

² 販売会社により取り扱いが異なる場合があります。

当ファンドでは、流動性や時価総額などの要件で銘柄の絞り込みを行なった上で世界の株式に極めて幅広く分散投資しますが、これら 3 つの観点(企業規模、相対価格、収益力)で高く評価した銘柄の組入比率が、世界の株式時価総額に応じた比率よりも高くなるように調整します。

「企業規模」「相対価格」「収益力」の観点で高く評価された銘柄の組入比率を相対的に高め

企業規模
~Size~

時価総額が相対的に小さい
小型株に着目

規模の小さい企業には大きな成長余地があると想定され、株価の値上がり余地も大きいと期待されます。

相対価格
~Relative Price~

株価が相対的に割安な
バリュー株に着目

企業の実力に対し株価が割安と判断される銘柄ほど、相対的に大きな値上がり期待されます。

収益力
~Profitability~

収益を稼ぐ力のある
高収益株に着目

収益力の高い企業の株価は、相対的に大きな値上がり期待されます。

上記の図はイメージであり、実際とは異なる場合があります。当ファンドでは、小型株やバリュー株、高収益株に着目しますが、大型株やグロース株、低収益株にも幅広く投資します。なお、ファンド全体における小型株やバリュー株、高収益株の組入比率が必ずしも高くなる訳ではありません。上記はディメンショナルが期待リターンの源泉として着目するポイントであり、株価特性は一般論です。

アクティブ運用では、収益追求のための銘柄選別などに伴ない運用コストが高くなる傾向にありますが、当ファンドでは、システムを取り入れたルールベースの運用を行なうことで、人間が投資判断を行なう運用では到底カバーしきれない、全世界の企業の分析が可能となるほか、省人化などにより運用コストの抑制を図ります。

システムを活用することで、全世界の企業分析や運用コストの抑制が可能に



＜システムティック運用によって可能になること＞

<p style="text-align: center;">ルールベースでの運用</p> <p style="font-size: small;">特定の人の判断に依存しない、透明性および再現性の高い運用</p>	<p style="text-align: center;">全世界の企業を分析</p> <p style="font-size: small;">人の力では到底カバーしきれない、全世界の企業を分析</p>
<p style="text-align: center;">配分比率の維持</p> <p style="font-size: small;">時間の経過とともに変化しがちな資産配分を適切な配分に調整</p>	<p style="text-align: center;">運用コストの抑制</p> <p style="font-size: small;">運用プロセスの一部をシステム化することによる運用コストの抑制</p>

システムに任せられる部分はシステムを活用し、結果検証や最終的な判断は、しっかりと人が行なう

上記の図はイメージです。

当ファンドの実質的な運用を行なうディメンショナル・ファンド・アドバイザーズは、1981年に創業された米国の運用会社を中核とし、英国、シンガポール、オーストラリア、日本にも運用拠点があります。ディメンショナル・ファンド・アドバイザーズを含むグループ会社を総称してディメンショナルと呼んでおり、ディメンショナルの運用資産残高は約6,770億米ドル(約95兆円)³を誇ります。

日興アセットは、今後も、様々なお客様のニーズにかなう幅広い投資機会をご提供してまいります。

以上

³ 運用資産残高は2023年12月末現在、換算為替レートは1米ドル=141.04円(2023年12月末現在)

「全世界超分散株式ファンド」について

■ 手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

- 購入時手数料： 購入時の基準価額に対し 3.3%(税抜3%)以内
 ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
 ※購入時手数料は、商品および関連する投資環境の説明や情報提供など、ならびに購入に関する事務コストの対価です。
- 信託財産留保額： ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

- 運用管理費用(信託報酬)： 純資産総額に対し年率 0.99633%(税抜 0.93633%)程度が実質的な信託報酬となります。
 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率 0.66%(税抜 0.6%)、投資対象とする投資信託証券の組入りに係る信託報酬率が年率 0.33633%程度となります。
 ※投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。
- その他の費用・手数料： ファンドの日々の純資産総額に対して年率 0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額
 ①目論見書などの作成および交付に係る費用、②運用報告書の作成および交付に係る費用、③計理およびこれに付随する業務に係る費用(①～③の業務を委託する場合の委託費用を含みます。)、④監査費用、⑤運用において利用する指数の標章使用料などは委託会社が定めた時期に、信託財産から支払われます。
 組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。
 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。
 ※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。
 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■ リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様へ「全世界超分散株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用や ETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

日興アセットマネジメントは 60 年を超える実績を誇ります。約 30 の国・地域から集まる人材は多様性に富み、約 200 名*の運用プロフェッショナルが約 32.2 兆円**の資産を運用しています。世界 11 カ国・地域***において事業を展開し、グローバルな視点を活かしてお客様のニーズにお応えする様々な商品を開発するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計 400 社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの公式ホームページ <https://www.nikkoam.com/> をご覧ください。

* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の 2023 年 12 月末現在のデータ。

*** 日興アセットマネジメント株式会社、海外子会社および関連会社を含む。

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会